

# せいろう

Seiro Town

Vol.122

# 議会だより

3月議会

平成30年  
4月27日発行

新潟県聖籠町議会

車には気をつけまーす  
(山倉小学校 入学式)

平成30年度一般会計予算を修正

2~6ページ

お聞きしました 「まちのこと」

12~13ページ

8人が一般質問

14~22ページ

第20回追跡レポート

23ページ



# 予算 審議

## 予算審査特別委員会

平成30年3月13日から16日の4日間にわたり、平成30年度一般会計予算、特別会計予算、事業会計予算の7会計を、議長を除く議員13人で審議を行いました。初日から3日間、各予算を細部にわたり担当課長

の説明を求め、例年どおり活発な質疑応答が繰り広げられました。4日目は、午前中、町長への総括質問。午後から採択を行いました。一般会計予算では、反対討論があり賛成3人、反対8人(欠席1人)で否決。国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計予算は賛成多数で可決。他の3予算は全員賛成で可決しました。

# 平成30年度 一般会計 予算案を修正

## 一般会計68億2434万円 (前年度比2.0%増)

## 当初予算の修正

3月19日、委員長報告の後、一般会計予算の減額修正案が審議されました。「さぶくん館」の源泉掘削等工事費、1億366万円を全削除し、歳入、歳出合計を、それぞれ68億2434万円とするものです。この修正案は、採決の結果、8対5の賛成多数で成立しました。他の6会計は、全て原案可決でした。

予算全体では、歳入は、町税で5830万円増の42億8392万円。全体の62・8%となります。国と県からの支出金は、11億1759万円、全体の16・3%となります。

全国的にみても、不交付団体を維持している自治体のほとんどは、大都市を除いて電源立地自治体です。歳出では、人件費などの義務的経費が29億888万円で、全体の42・6%です。平成29年度は、福祉政策を中心とした39事業、約7800万円の削減・廃止に踏み切りましたが、平成30年度も2100万円余り削減された予算となっています。行政のスリム化を目指し、立ち上げる「行政改革本部」を徹底的に磨いて、行政コストの削減に本気で取り組むことを望みます。

## 平成30年度一般会計・特別会計予算

会計名	平成30年度	平成29年度	前年度対比	採決結果		
一般会計	68億2434万円	66億9000万円	2.0%	修正可決：賛成8・反対5		
特別会計	国民健康保険 事業勘定	13億27万円	15億3401万円	△15.2%	可決：賛成12・反対1	
	国民健康保険 施設勘定	9826万円	9829万円	△0.0%		
	介護保険	12億7585万円	12億4855万円	2.2%	可決：全員賛成	
	後期高齢者医療	8603万円	7576万円	13.5%	可決：賛成12・反対1	
	県営開拓パイロット事業	990万円	991万円	△0.1%	可決：賛成11・反対2	
事業会計	下水道事業	収益的支出	7億552万円	7億1733万円	△1.6%	可決：全員賛成
		資本的支出	4億2928万円	3億9030万円	10.0%	
	水道事業	収益的支出	2億8689万円	2億8374万円	1.1%	可決：全員賛成
		資本的支出	2億3150万円	3267万円	608.5%	
合計	112億4784万円	110億8056万円	1.5%			

## 動議

3月議会の最終日、「さぶくん館」の源泉掘削関連金額を削減する動議が提出され、採決の結果、減額修正案が可決されました。

## 主な質疑

**問** 宮沢光子議員 源泉井戸の掘削工事費については、予算委員会の中で、殆ど議論されていない。掘削工事費の削減は、反対する8人の総意なのか。源泉井戸は今、順調かどうか。修理をしたからである。いつ源泉が止まるかわからない状況で掘削工事に反対するのは無責任である。

**答** 小川益一郎議員 工事費の削減は、8人の総意である。源泉が止まれば、町が対応すべきこと。「聖籠の杜」の経営体質の改善が大事である。

**問** 須貝龍夫議員 源泉が出なくなっているから対応では経費がかさむ。また、指定管理者制度だから、経営に口出しはできないのではないのか。

**答** 小川益一郎議員 町からの支出を一度立ち止まって考えてみるということだ。また、町はいわばオー

## 討論

ナーだから常に収支を考慮してほしい。

## 反対 宮沢光子議員

「さぶくん館」の源泉は、昨年11月、決定的な井戸の故障で源泉が止まった。沸かし湯対応で営業したが、温泉を売りにしている「さぶくん館」にとって、致命的であった。安定した源泉量を確保するために、新たな源泉井戸の掘削は必要不可欠である。当初予算に、反対するためだけの修正動議に反対する。

## 賛成 小川勝也議員

町長は、財政健全化に向けて財政改革に取り組んでいるが、今後予想されている公共施設の老朽化対策等の明確な対応を示すことなく、「さぶくん館」に対して経営計画の内容が精査されないまま源泉掘削費1億円が計上されている。

よって、減額修正案に賛成する。

## 賛成 中村恵美子議員

12月議会では、すぐでも源泉の修繕にかかりたいということ、1400万円を専決処分した。補正予算でも「聖籠の杜」には特例として、赤字分の半分、430万円を助成してきた。今回の予算化では、「さぶくん館」の経費削減の方向性や、掘削工事の内容について詳細な説明もない。修正案に賛成である。

## 賛成 青木順議員

基本的には、動議の提案理由のとおりである。年々、町財政が緊迫している中、約1億円の投資は検討の余地がある。

入館者の減少、町民の利用の少なさ、など課題は多い。他方、町民の健康増進施設や観光の拠点としての機能も備える。第3セクターは、第2の公共であり、常に赤字、黒字では判断できないが、時期尚早である。

採決 賛成8反対5で可決

## 発議者代表 小川益一郎 提案理由

「聖籠観音の湯さぶくん館」の損益分岐点は、入館者数20万人が目安と町から説明があった。現状は、平成19年に20万人を割ってから年々減少し続け、現在は15万人前後で推移している。その間、町は有効な経営改善策を示すことなく、基金の取り崩しおよび委託料という形で一般財源から赤字補填してきた。

そのような経営状況の中、今回、1億円超の投資をすることは、間違いなくそのツケを将来世代に回すことになる。そういう意味では無責任である。

現在の源泉井戸も順調に稼働しており、現状では、この源泉井戸が稼働する限り、現在のものを使用しても何ら問題はない。今後の安定したお湯の供給を見据えて、源泉井戸を新たに掘削するというならば、明確な経営改善方針を町民に示すべきと考え、修正案を提出するものである。

## 発議者

- 小川益一郎
- 中村恵美子
- 五十嵐利栄
- 田中 智之
- 青木 順
- 渡邊 豊
- 小川 勝也
- 宮沢さやか



# 質疑あれこれ

## 予算審査特別委員会の主な質疑



▲「ざぶ〜ん館」の要 源泉井戸

**問** 現在の敷地内に源泉を掘り直すということだが、大丈夫か。

**答** 以前からの業者の調査で、現在の敷地が最適地ということで決断した。工事については、業者を信頼し成功することを目指したい。

**問** 「ざぶ〜ん館」は、開館して20年になる。いまだ一人歩きできない。経営体質の改善が必要ではないか。

**答** 「聖籠の杜」と、体質改善について、具体策を協議する時期にきていると認識している。

**問** 一般会計から年間2000万円以上補填することは、将来に負債を残すことになるのではないか。

**答** 「ざぶ〜ん館」の位置付けをどう捉えるかによって、判断は違ってくるものと考ええる。

## どうして直す「ざぶ〜ん館」

**問** 団員70人減のうち、第1分団が29人減と大きい。今までどおりの活動は大丈夫か。

**答** 今回の条約定数の削減は、各分団、各班で十分打ち合わせの上での再編成である。各分団、協力し合って今までどおり活動できるように、徹底してもらっている。

**問** 班によっては守備範囲が広くなり、井戸や機器の管理や点検などで負担が大きくなる。何か個

人に対する配慮などはあるか。

**答** 第1分団の1班と3班が合併して範囲は広がるが、基本的には今までどおりの出動手当、機器の点検費用でお願いする。

**問** 潰す井戸はどこか。残りは何箇所か。

**答** 網代浜1カ所、浦山2カ所、大夫興野1カ所、計4カ所である。全町内の防火用井戸は172カ所となる。

## 消防団員265人にスリム化



▲少数精鋭で安全を守る

## 庁舎改修工事



756万円

主な工事は屋上設備の修理です。

## 小規模企業起業・創業支援事業補助金



140万円

新事業です。起業する個人・法人に対しての補助金です。

## 文化会館 ピアノ修繕(ベーゼンドルファー)



346万円

購入してから初の、弦の修繕です。

## 注目事業 ピックアップ

平成30年度  
予算

平成30年度の  
注目事業を紹介します

## 町民会館30周年記念事業



101万円

主な事業は記念冊子を作成します。

## 中学校通学用ヘルメット購入補助金事業



40万円

購入代金の半額を補助します。



工場立地法地域準則条例の制定、国民健康保険税条例の一部改正、平成30年度7会計予算など32議案を全て可決。

平成30年3月6日～19日(会期14日間)

# 3月定例会

## 空き家除却費補助金の利用を



▲使いやすい補助金制度で

**問** この制度は非常にハードルが高い。ここ2年、利用が0である。なぜか。

**答** 定住促進も図るという意味合いもあるのですが、最終的には空き家バンクに登録する、という制度であるから。

**問** 予算でも60万円計上している。30万円を上限に、2分の1補助という

**答** 制度を考慮、精査し、検討だけで終わることのないよう、やってほしい。

**問** 制度だが、使いづらい。見直して、壊して更地にした段階で確認して補助金を出したりするなどの利用者を増やすには工夫が必要だ。

**答** 制度を考慮、精査し、検討だけで終わることのないよう、やってほしい。

## 伸ばしたい子どもたちの教育



▲IT機器の有効利用を

**問** 情報機器の借上料は年々高くなってきた。平成27年度は約2300万円、平成28年度は約2800万円、平成29年度は約3700万円であった。値下げ交渉はしているのか。

**答** 機器の更新時に交渉している。

**問** 時代の流れでどんどん安くなっていると思う。次回の更新はいつか。

**答** 長期契約となっており、次回は平成33年度中となっている。

**問** NRT学力検査で、3年生は1月に実施しており他の中学校では4月が多い。受験直前で偏差値が上がるのは当然。このような、比較にならない検査は意味がないと思う。

**答** NRT学力検査については、確認し対処する。ただし、同じ子どもたちをずっと検査しているわけではないので、年によって変わってくると考える。

## 例定 条制

## 設備投資の促進に寄与

### 工場立地法地域準則条例

〔宮沢光子議員〕町の条例で緑地面積の緩和ができて緑地の背景は何か。

〔東港振興室長〕工場立地法では、緑地面積の緩和については、県、市が定める規定であった。平成29年4月から、法改正で町にも権限がきたことで、条例を制定する準備ができた。製造業の事業者から、具体的な相談はないが、東港企業へのアンケート結果からは、緑地

新潟東港工業地帯における工業用地の分譲が平成28年度に完了しました。現在は、未操業地や暫定利用地の早期活用、既存の企業における設備投資の促進が喫緊の課題です。工場立地法では、生産施設を有する一定規模以上の製造業等の事業者は緑地を含む環境施設を敷地に設置することを定めています。しかし、同法において、緑地を含む環境施設の面積要件を、町の条例で緩和することができ規定があるので、町内産業の活性化のため、条例を制定しました。

〔町長〕国の地方分権改革の中で、工業地帯を抱える

〔町長〕国の地方分権改革の中で、工業地帯を抱える

### 背景は

### 主な質疑



▲町の顔 東港工業地帯

## 診療所の新体制に期待



▲さらに町民の身近な診療所に

**問** 新しい医師を診療所に迎えるにあたって、どのようなことが期待されるか。

**答** 新しい医師は、医大卒業後、青森県などで地域医療の経験もあり、町でも期待できると考える。6月ごろには、新旧医師の交代ができる予定である。

**問** 医師代診謝礼として、46万円ほど計上されているが理由は。

**答** 新しく着任する医師が研修などで休むとき、代わりの先生をお願いする予算である。金額の内容は、1時間1万800円で、5日間で、他に交通費等も含んでいる。

## 条例改正

## 納期が10回から9回に

### 国民健康保険税 条例

### 討論

討論 なし  
採決 全員賛成で可決

### 主な質疑

〔中村恵美子議員〕納期が、10回から9回になることで、1回分の保険料が増える。納税者は苦しくなる。

〔町長〕町は、新潟県の方針に基づいて、暫定賦課を廃止する。保険料の全体的金額は変わらない。

〔反対〕中村恵美子議員

納期が10回から9回になることで、1回分が負担増になる。今まで以上に滞納が増えることが懸念される。

採決 賛成12 反対1で可決

国民健康保険法等の一部改正で、平成30年度から都道府県が保険者になり、財政運営の責任主体となります。新潟県は国保運営方針において、事務の標準化を図る観点から暫定賦課の廃止を決めました。暫定賦課の廃止で、国民健康保険税の納期は、5月から翌年2月

面積の緩和について、要望はある。7月から翌年3月の全9回になります。



# 改正 条例

## 団員の定員 70人減に

消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

消防団員の確保が、若年層人口の減少、就業構造の変化などにより、難しくなってきたことから、町は、抜本的な再編を含めた在り方について、消防団と協議を進めてきました。協議が整ったことから、本条例の一部改正をします。

団員の定員は、現行「335人」を、「265人」にします。

### 主な質疑

今後の活動に支障はないか

〔中村恵美子議員〕消防団員が70人減ることによって、今後の活動に支障はないのか。班を統合するのであれば、不用になる

大丈夫か日常の点検  
〔五十嵐利栄議員〕5班が統合するが、統合したことで点検の範囲が広くなり、増える。日常の点検は大丈夫なのか。

消防団の協議で支障はなし

〔生活環境課長〕団員が減ることによる、今後の活動については、消防団の協議で支障はないということであった。不用になる車両については、消防団員の意向を聞きながら検討する。

消防団と十分に協議した

〔生活環境課長〕消防車両やポンプ等の点検は今ままで同じである。日常の点検について、消防団と十分に協議を重ねた。

討論 なし  
採決 全員賛成で可決



▲町の安全・安心をよろしく！

# 専決処分

## 除雪経費を3回補充

### 一般会計補正予算

町は、平成30年1月15日、2月6日、2月13日の3回、除雪経費を専決処分しました。既定の歳入歳出予算の総額に2千万円ずつ3回、合計6千万円を追加して、平成29年度一般会計補正予算を7億1838万円と定めました。

討論 なし  
採決 全員賛成で承認

副町長に  
西脇道夫さん(再任)



にしわき みちお  
西脇 道夫さん  
(山大夫)

副町長の西脇道夫さんが平成30年3月31日をもって任期満了になることから、引き続き同意を求められ、無記名投票によって、全員賛成で同意しました。

教育長に  
近藤朗さん(新任)



こんどう あきら  
近藤 朗さん  
(新潟市中央区)

教育長の伊藤順治さんが平成30年3月31日をもって任期満了になることから、後任に近藤朗さんの同意を求められ、無記名投票によって全員賛成で同意しました。

教育委員に  
深井一成さん(新任)



ふかい かずしげ  
深井 一成さん  
(次第浜)

教育委員会委員の根津慶幸さんが平成30年3月31日をもって辞職をすることから、後任に深井一成さんの同意を求められ、無記名投票によって全員賛成で同意しました。

## 施政方針表明



わたなべ  
渡邊町長

### ●行政改革本部を立ち上げる

### ●消防団員70人減、265人へ

### ●生活支援コーディネーター配置

▼平成30年度一般会計予算(案)69億2800万円  
増、主な要因は、町道の工事請負費や、学校給食調理場改修工事、役場庁舎修繕工事です。  
▼行政運営における事務事業や行政組織を精査・検討する行政改革本部を立ち上げ、行政のスリム化やコスト削減に取り組

みます。  
▼男女共同参画計画については、2018年度から2022年度までの5年間とする第3次計画を諮問。年度内に計画を策定し、今後も聖籠町における男女共同参画社会の形成に向けて、取り組みを一層進めます。  
▼消防団員の条例定数を、新発田広域消防なら

びに町の消防車両整備が、充実し、新入団員の確保が難しいことから、消防団の要望を踏まえ再編成を行い、70人減の265人とします。  
▼保健福祉施策の取り組みとして生活支援・介護予防サービスの充実に向けて「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」の配置を、町社会福祉協議会への委託事業として実施します。  
▼町民を対象とした「手話講座」を年2回程度、図書館を会場に開催したいと考えています。  
▼社会福祉法人聖籠福祉会には、はすがた園と町社会福祉協議会が実施する介護保健事業が一本化し、さらなる高齢化への対応と町民サービスの向上が図られるものと期待しています。  
▼図書館は、4年目を迎え入館者数が昨年12月に30万人を超え、人口1人当たり図書館貸出し点数が、10・8点となっています。

## 読者の声

### 「町に望むこと」は何ですか？



えのもと たいき  
榎本 大輝さん  
(山大夫)

「町に望むこと」は何だろうか？

この原稿を書くに当たり二晩ほど真剣に考えてみました。そのなかで浮かぶことは自分自身のために、というより子どものためにという視点が中心になりました。

私が町に望むことは、「幸せになる幼児教育改革」です。近い将来、幼児教育無償化が開始される見通しですが、聖籠町ではすでに無償化が行われています。ではその財源を利用し他の自治体との差別化をどう図るのか？

改善、設備投資などが考えられますが、こども園に通う子どもたち、預ける親、働く職員、支える地域住民全てが幸せを感じられる環境をつくってほしいと思います。「こども園にお金がかからなくていいね」から「幼児教育が充実しているうらやましい」と思われるように、そして町民もそれを実感できるように。

と、今までならここで話は終わるところで話した。今回このような機会を頂いて深く考えたことは、望むだけで終わらず自分自身もそこに参画しなければならぬ、ということだと思えます。

皆さんが「町に望むこと」は何ですか？  
そのために「自分ができること」は何ですか？



# 「新たな消雪パイプ設置へ」

## 一般会計補正予算

### 主な歳入

■社会資本整備交付金	956万円
■町道整備事業債	330万円

### 主な歳出

■介護給付費扶助費	710万円
■消雪パイプ整備工事	2090万円
■財政調整基金積立金	2500万円



▲日頃の疲れを癒やす「ざぶ〜ん館」

平成29年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7423万円を減額し、総額69億4415万円と定める予算を全員賛成で可決しました。主な質疑は歳出での空き家除却費補助金、源泉井の機能不全に伴う運営費助成金などについて質疑が行われました。

### 主な質疑

#### 助成額高額では

〔中村恵美子議員〕 源泉井の機能不全に伴う運営費

助成金として2分の1助成した根拠は。助成額として高額ではないか。

〔保健福祉課長〕 町としては源泉を確保して営業し

#### 報酬減の理由は

〔五十嵐利栄議員〕 スポーツ推進アドバイザー報酬の減の理由は。

#### 1人体制となったため

〔社会教育課長〕 平成26年当初は2人体制であったが、昨年1月に1人が移籍、枠を空けた状態であった。アルビレックスと協議し、当面1人体制で合意したため減額となった。

### 修繕費の内訳は

〔中村恵美子議員〕 学校管理費内での修繕費の内訳は。すぐに対応したのか。

### 蓮野小学校の修繕費である

〔子ども教育課長〕 蓮野小学校の暖房用ボイラー（配管）の修繕および体育館前駐車場のマンホール修繕等に係る経費である。学校からの連絡を受け、すぐに対応した。

### 賄材料費減の理由は

〔五十嵐利栄議員〕 学校給食運営費における賄材料費が減額されている。野菜等が高騰する中、具体的な対応は。

### 物価上昇を加味しているため

〔子ども教育課長〕 賄材料費は給食の配食に基づき計上している。また、賄材料の物価上昇を加味しての計上である。



▲安全な食材を提供

### 空き家除却費助成金の利用実績は

〔中村恵美子議員〕 空き家除却費補助金を利用した件数は。補助の対象を見直してはどうか。

### 今まで実績はない

〔生活環境課長〕 今まで空き家除却費補助の実績はない。補助の対象等について、今後見直していきたい。

### 臨時雇賃金減の理由は

〔五十嵐利栄議員〕 児童福祉施設費における、臨時雇賃金減の理由は。

### 少ない人員で運営できたため

〔子ども教育課長〕 放課後児童クラブおよび亀塚児童館の臨時雇賃金である。特にパート職員に関しては少ない人員で運営できたため、減額となった。

## みなさんの 請願・陳情

第1回定例会では、地域住民より直接の声となります。まず陳情2件を審査し、全員賛成で採択となりました。

### 採択した陳情

◎核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出に関する陳情

〔提出者〕 「ヒバクシャ国際署名」新潟県連絡会新潟県原爆被害者の会 会長 山内悦子 他3人

討論 なし  
採決 全員賛成で採択

◎障害者の暮らしの場の充実を求める意見書採択のお願い

〔提出者〕 障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会 会長 中内福茂

討論 なし  
採決 全員賛成で採択

### 意見書を国に提出

第1回定例会で2件の意見書が提出され、それぞれ可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の早急な整備を求める意見書



## 町民に優しい町



3年  
ほんま しょうじ  
本間 丈治さん

**質問1** 僕は、この聖籠町がとても住みやすい町だと思っています。

聖籠町は火力発電所などがあるので経済的にも豊かな町です。そのおかげというところもあり、ごみ袋が無料で配られ、こども園も無料です。だから、町民に優しい町だと思います。

**質問2** 僕は、聖籠町外から友達が出来たとき、友達に紹介したいことが二つあります。

一つ目は、海があることです。そこでは夏にお祭りがあり、花火が上がることが紹介します。二つ目は、果樹園がた

くさんあることです。聖籠町は果物で有名なので、そこを紹介したいです。

**質問3** 僕の10年後の聖籠町への期待は、交通手段がもっと増えることです。

聖籠町は駅がなく、バスもあまり多くないので、そこを改善してより住みやすい町になってほしいです。

**質問4** 僕は議会だよりを読んだことがありません。ですが、調べてみると聖籠町についてのこと書かれています。だから、これからは読むようにしたいです。

## 紹介したい町の海



3年  
やまぐち ひろと  
山口 大翔さん

**質問1** とても住みやすい町だと感じています。なぜなら、こども園が無料だったり、公園や緑もたくさんあったり、駅も近くにあったりするので、とても住みやすいと感じています。

**質問2** 僕が紹介したいところは、網代浜の海です。夏になると、花火やマリンスピナーなど多くのイベントでにぎわいます。毎年、多くの方が訪れるので、ぜひ、見に来てもらいたいです。

**質問3** 僕は、聖籠町にとても期待しています。なぜなら、先日、新潟聖籠病院ができたなど、

町民が住みやすい環境が整ってきているからです。ですが、この聖籠町も人口があまり多くないので、若者がたくさん移住してくるようなものをつくらして、いろんな人に聖籠町の素晴らしいところを知ってもらえるようにしてほしいです。

**質問4** 見たことはあります。ですが、あまりよく分からなかったのですが、町民の皆さんが分かりやすいものにしてほしいです。

# お聞きしました！「まちのこと」

昨年、一昨年に続き、聖籠中学校の平成30年度の新生徒会役員に「まちのこと」をお聞きしました。このシリーズも3回目になりますが、毎回、新鮮な視点で回答をもらっています。

平成29年12月、生徒会選挙が行われ、立会演説会後の質疑応答で、具体的な活動について、各候補は自分の考えをしっかりと答えたようです。より良い学校づくりに期待します。

### 質問項目

- 質問1** 聖籠町を住みやすい町だと思いますか？
- 質問2** 聖籠町外から友達が訪ねて来たとき、聖籠町のどんなところ(どんなもの)を自慢(紹介)しますか？
- 質問3** 10年後の聖籠町への期待は？
- 質問4** 「議会だより」を読んだ(見た)ことはありますか？

## 地域の人が優しい



3年  
たなか みのり  
田中 実乃里さん

**質問1** のどかで自然も多く、とても落ち着く町だと思います。また、こども園のお金が掛からないところやごみ袋が無料で配布されることなど、どんな人でも安心して暮らせる住みやすい町だと思います。

**質問2** 果物が豊富などころや、地域の方が優しく落ち着ける町だということを紹介します。

果物はどれもおいしいですし、町全体が落ち着いた雰囲気、心が安らぎます。

**質問3** もちろん、このままの温かい雰囲気を保ってほしいです。

できることなら子ども数が増えていたり、次第浜などの広い海のごみがなくっていいと思います。

**質問4** 見たことはありますが、読んだことはありません。ですが、気になったので調べてみたところ、普段は気付かないような町の現状やいろいろなことに対しての聖籠町の考えを手軽に知ることが出来るものとして、とても便利だなと感じました。今度、見かけたら読んでみようと思います。

## 緑を減らさないで



3年  
たかはし わかな  
高橋 和奏さん

**質問1** 地域の方が優しく、住みやすい町だと思います。あいさつをした後、「大きくなったね」と声を掛けていただくことがたくさんあり、うれしくなります。

**質問2** まずは、海があるのが気軽に遊びに行けることです。それから、緑地公園があり、緑が豊かなところも自慢したいです。

**質問3** 期待は二つあります。一つ目は海をきれいにすることです。町に海があることは、町の自慢だと思います。海が今よりきれいになったら、もっと

と自慢したくなります。そんな「自慢したくなるような海」にするためにきれいな海になってほしいです。二つ目は緑を減らさないことです。聖籠町内に新しい建物やごんごん建てるために木を切るものがなく、10年後も今と同じか、それ以上の緑があるとうれしいです。



# ズバリ直言!! 一般質問 町政を問う

## 8議員が質問

- 3月議会では、8議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、5月末に町ホームページに掲載される予定です。

五十嵐 利栄 議員

2 1 町を元気にする5提案  
残業時間は改善されたか

P15

宮沢 光子 議員

3 2 1 人のつながりをどう進める  
答申の内容どう捉えたか  
考えているか計画の素案

P16

中村 恵美子 議員

3 2 1 川越町への職員派遣の中身は  
重度心身障害者2級に助成を  
小学校1年生入学前に就学援助を

P17

宮沢 さやか 議員

2 1 園の選択制導入を  
高齢者世帯への除雪支援を

P18

小川 益一郎 議員

3 2 1 専決処分は議会軽視  
中学生通学用ヘルメットに補助を  
その他の質問

P19

長谷川 六男 議員

2 1 歩道の早期完成を  
大丈夫か自転車通学の安全は

P20

田中 智之 議員

2 1 ざぶくん館に1億円 町民の理解は  
本町の子どものための「生きる力」は

P21

小川 勝也 議員

3 2 1 大丈夫か老人介護施策は  
教育施策は認知されているか  
今後のCCRC計画は

P22

## 町を元気にする5提案

### 町長 関係者と協議する

問 藤寄駅で止まっているJR貨物線を東港まで復活させることを、新潟県は国土交通省に要請した。しかし、要請から6年余り経過したが具体的な進展がみられない。JR線の復活は町にとってもプラスとなり、県や国に対して早期実現を働き掛ける考えはないか。

町長 提案のあったグリーン・ツーリズム事業の展開については、農業者や関係事業者の意見等も聞き、検討したい。

問 首都圏等から、農業体験希望者を募集し、ふれあい農園や遊休農地を活用する。宿泊は「ざぶくん館」も利用してもらうことで、町の活性化にもつながるのではないか。

町長 必要であり、レストラン部門の売上げが急務ではないか。

問 「ざぶくん館」の売上減が止まらない。温泉・ホテル・レストランは経営の3本柱である。従業員70人の先頭に立つ

町長 「ざぶくん館」の利

問 最近3カ年は、15万〜18万人と減少している。また、レストラン部門の充実が集客を左右する重要部門と認識している。経営分析をし、町としても利用者の増加につながる対策を指導し、協議を図っていきたい。

町長 戦略的にPRをし、

問 ふるさと納税を拡大し、返礼品に米を主体とした農作物の活用を。

町長 戦

問 今年1月、県職員が勤務中に倒れ亡くなった。過労死の疑いもある。町職員の残業時間は改善されたか。

町長 平成29年度の月最高残業時間の実績は90時間であり、平均で80時間を超える職員はいない。

問 4月から自治体の障害者法定雇用率が2.2%から2.4%に改正される。町の障害者雇用率の実態と、法改正時の対応策は。

町長 町の障害者雇用の実態は、町長部局2.63%、教育委員会が2.71%である。現時点でも改正雇用率を上回っているが、今後とも法定雇用率を順守していきたい。



五十嵐 利栄 議員



▲復活待たれる貨物線

## 残業時間は改善されたか

### 町長 昨年同比べ改善された

問 今年1月、県職員が勤務中に倒れ亡くなった。過労死の疑いもある。町職員の残業時間は改善されたか。

町長 平成29年度の月最高残業時間の実績は90時間であり、平均で80時間を超える職員はいない。

問 4月から自治体の障害者法定雇用率が2.2%から2.4%に改正される。町の障害者雇用率の実態と、法改正時の対応策は。

町長 町の障害者雇用の実態は、町長部局2.63%、教育委員会が2.71%である。現時点でも改正雇用率を上回っているが、今後とも法定雇用率を順守していきたい。





みやざわ みつこ 議員

# 人のつながりをどう進める

## 町長 支え合い推進員を配置

**問** 平成28年3月、聖籠町地域福祉計画が策定された。計画の重点目標は、「人がつながる豊かなまちづくり」。地域のつながりと見守り、環境整備等を掲げている。計画策定後、具体的にどのような取り組みがされたか。平成30年度はどう進めるのか。

**町長** 具体的には、自助共助を基本とし、公助としてボランティア活動を中心に、集落での福祉の担い手やリーダー育成に取り組んでいる。

**問** 3小学校区を基礎単位にした「地区計画」の中で、具体的な体制づくり等をどうするのか。

**町長** 今後、聖籠町社会福祉協議会に委託する、



▲よりあい「はまな」でおしゃべり（網代浜集落）

生活支援体制整備事業で、生活支援コーディネーターが配置される。別名「支え合い推進員」であるが、地区リーダー等が決まった段階でネットワークづくりを進めたい。

**問** 地域のつながりの問題・課題を、第三者的な観点から意見が言える人がいいと思うがどうか。

**町長** 町には、昔ながらの集落住民と新興住宅地

の住民が混在している。そこを上手にどうコーディネートしていくかが大きな課題である。

**問** この計画が進み、今冬のような大雪の時には高齢者世帯や弱者に対し、除雪支援が当たり前のようになっている支え合い集落体制であってほしい。

**町長** 理想の姿である。

# 答申の内容どう捉えた

## 町長 意識啓発事業が不十分

**問** 平成30年1月、第3次聖籠町男女共同参画計画策定委員会の答申が出た。答申の内容は、平成25年に策定した、第2次計画の取り組みは不十分で、現行計画の成果の検証が難しかった、とある。第1次計画からは、約10年経過している。聖籠町は、男女共同参画は足踏み状態、かなり立ち遅れている。答申の内容をどう捉えているか。

**町長** 第2次計画で重点にしていた、町民に対する男女共同参画の理念の浸透と意識啓発事業が不十分であったと思う。

**問** 「女性会議」の創設をどう考えているのか。

**町長** 創設は、意義があるが、具体的な考えはない。町の既存の各女性団体も活動の解散や縮小をしている現状にある。

# 考えているか計画の素案

## 教育長 素案を策定中

**問** 総合教育会議で「聖籠町教育基本振興計画」を考えているということだったが、素案はできていないのか。計画は4月からの新教育長に引き継がれるのか。

**教育長** 今、素案を策定中である。計画は、当然、次の教育長に引き継ぐ。計画の取り組みも教育委員会として考えていく。

# 重度心身障害者2級に助成を

## 町長 今は考えていない

**問** 平成29年9月以降、重度心身障害者医療費助成事業の対象に精神障害者福祉保健手帳1級の交付を受けている人が新たに加わった。一歩前進した。2級まで広げることができないか。

**町長** 県は助成対象者を1級までとしている。町は2級までの拡大の考えはない。

# 川越町への職員派遣の中身は

## 町長 今後の交流で意見交換

**問** 川越町への理解を一層深めるため、教育、福祉、産業などの複数の分野の町職員を派遣したいと施政方針に述べている。どれくらいの年代層で男女何人か。

**町長** 庁内における総務企画、福祉、産業観光、生活環境、教育および東港の幅広い分野から担当職員を川越町へ訪問させ、町職員として川越町への理解を深める。今後の交流について、川越町と意見交換したい。

訪問する職員は、男女にかかわらず主任、係長級の職員10人程度である。

**問** 川越町からの職員は派遣されてくるのか。

**町長** 同じ趣旨のもと、川越町からも職員を派遣したいと意向を聞いている。

**問** 保健福祉施策の取り組みで、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、生活支援コーディネーターの配置を町社会福祉協議会への委託事業として実施するが、中身は何か。

**町長** 生活支援コーディネーターは、主に地域に不足するサービスの創出

や生活支援の担い手の養成に関する資源開発と、関係者間の情報共有の連携体制づくりに関するネットワークの構築である。

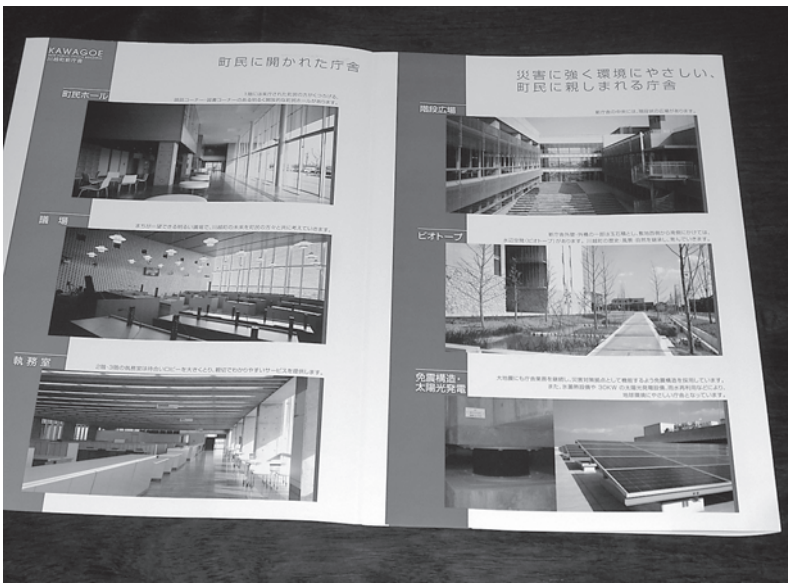
**問** 認知症サポーターと生活支援コーディネーターを関連付けて活発化できないか。

きないか。

**町長** 生活支援コーディネーターが、地域で「お互いさま」の支え合いづくりを支援していくにあたり、認知症サポーターの方にも支え合いづくりの一員として、一緒に取り組んでもらえればと思う。



なかむら えみこ 議員



▲川越庁舎のパンフレット

# 小学校1年生入学前に就学援助を

## 教育長 今後検討したい

**問** 就学援助の入学準備金を、中学1年生と同じく小学1年生にも、入学前支給にできないか。

**教育長** 小学1年生の入学準備金は、児童が援助を必要とする時期に、速やかに支給することが求められている。今後、検討していきたい。





おがわ ますいちろう 益一郎議員

**問** 今年は何年になく大雪であった。  
そのため、当初予算の不足から、補正予算が必要となり専決処分をしたが、なんでも専決してよいとは地方自治法の定めではなっていない。  
地方自治法第179条の一つに、特に緊急を要するため「議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められるとき」と規定されている。  
聖籠町の議員は10分以内で全域から役場に来ることが可能である。  
従って、専決処分を乱発し議会軽視をすることは法の趣旨ではない。  
除雪費が不足している  
と1月15日、2月6日、2月13日と3回専決処分をしている。また、それ以前にも、「びんぐん館」の温泉井戸がおかしいと専決処分をしている。  
議会議長も甚だしい。  
どうしても専決処分が必要な場合、事前に議会に了解を取るべきでない

**町長** やむなく専決処分  
か。今年のは里雪型となり、町民の生活を確保するため除雪作業にあたり、予算の不足が生じたため、早急な補正が必要となった。やむなく議長への事前報告のもと、3回にわたり補正予算を2千万円ずつ、計6千万円を専決処分したものである。  
決して専決処分を軽々しく行う姿勢ではない。  
基本的には議会を開会して審議をお願いするのが私の基本姿勢である。

## 中学生通学用ヘルメットに補助を

**教育長** 当初予算に計上

**問** 旧聖籠中学校時代、生徒の安全を守る立場から通学用ヘルメットの着用を義務付け、その購入費の補助を行ってきた。  
亀代中学校、聖籠中学校が統合してから、教育委員会・中学校とも生徒の自主性を尊重するという立場から、ヘルメット

の着用を自由としてきた。  
生徒の安全を守る観点から着用を義務付け、ヘルメットの経費負担は町が応分の負担をすべきだ。  
**教育長** 生徒の命を守るため、平成30年から自転車通学時にヘルメットを着用することになった。  
例として、1個2千円のものであれば、2分の1補助で千円となる。



▲これで安心 自転車通学

**その他の質問**  
**問** 聖籠町の人口増に向けてどう考えるか。  
**町長** 2060年では、2010年と同水準を維持しようとビジョンを立てている。

## 専決処分は議会軽視

### 町長 やむなく専決処分

## 園の選択制制度導入を

**教育長** 現段階では考えていない



みやざわ 宮沢 さやか議員

**問** 国は2020年度から幼児教育・保育の無償化実施を掲げている。本町のこども園も無償化の対象となるのか。対象外の場合、本町独自で通常保育料の無償化は継続か。  
**教育長** 幼児教育の無償化についてはいまだ流動的。有識者会議の結論が6月に出されるため、動向を踏まえ対応したい。対象外の場合、町独自の子育て支援策であり現時点では継続と受け止めている。  
**問** 無償化の対象となる場合、新たな子育て支援策に取り組む考えは。  
**教育長** これまでの取り組み成果と課題を受け止め、幼児教育と預かり保



▲元気いっぱい学びの場（蓮野こども園）

育の充実の充実に向けていきたい。  
**問** 幼児教育の質を高め、さらに充実させるため、学区制から選択制へ移行しては。今後は学びに向かう力が重要となる。保護者にとっても、あらためて幼児教育について考える機会となるのでは。  
**教育長** 幼児教育の質の充実について異論はない。選択制については議論す

べき点が多々あり、現段階では考えていない。  
**問** 預かり保育の利用状況は年々増加傾向にある。平成30年度での利用予定率は蓮野こども園67%、亀代こども園60%、蓮濁こども園52%。そのため、異学年の園児たちが一つのクラスで過ごす状況下にある園もある。  
既存の施設内でも利用の工夫を行い、預かり保

育を学年単位で実施する体制づくりが必要では。  
**教育長** 保育室や職員の確保等の課題があり、現在の体制では厳しい状況。現状は、園児の半数以上が利用しているため、預かり保育の運営についての見直しも必要と思う。

## 高齢者世帯への除雪支援を

### 町長 地域の中での支え合いが基本

**問** 今年は何年になく大雪であった。平均寿命が延び、かつ少子高齢化が進む中、単身高齢者世帯、高齢者のみの世帯数は今後とも増加すると考えられる。高齢者が安心して冬期間過ごせるよう、除雪支援を行う考えはあるか。  
**町長** 各集落での除雪ボランティアを募るなど、除雪対応を検討する。  
しかし、基本的には地域の中での支え合いが原則である。  
**問** 各集落への支援やボランティア育成が自助・共助面で重要だが、公助として除雪オペレーターがGPS機能を活用し、独居高齢者宅前に雪を押しつけにくい思いやり除雪に取り組んではどうか。  
**町長** 継続的に積雪が想定される地域であれば制度として確立が必要。  
本町の場合、年度によって状況が異なるため、制度として確立する段階ではない。





はせがわ むつお 議員

# 歩道の早期完成を

## 町長 早めに予算措置をしたい

**問** 今年の冬は低温が続く、猛吹雪で前が見えないホワイトアウトと言われる日が多かった。子どもたちが安全に通学するには、歩道の整備が重要であることを強く感じた。現在、進められている2カ所の歩道計画の状況はどうなっているか。

**町長** 東港へ通勤するマイカーが多く利用する、蓮野菝沼線および寺島菝沼線代浜線の歩道の整備状況は、平成34年から平成38年ごろの事業完了予定のようだが、今年のような大雪の年は、登下校時の危険度が大きく跳ね上がる。もっと早い整備はできないものか。

**町長** 蓮野菝沼線は、全



▲歩道があればいいのになあ

線700メートルのうち蓮野側、110メートルを平成30年度に道路改良、舗装工事を予定している。寺島網代浜線の菝沼地内は、全線640メートルのうち、平成31年度に聖籠中学校側から菝沼集落に入る一部区間の用地買収費、物件補償費を交付金対象となるよう要望している。

両線とも全体延長をいっぺんに整備することができず、区間を分けて順次整備しなければならぬ。しかし、着手した以上、なるべく早く予算措置をしながら進めていく。

**問** 中学生の自転車通学路、人通りがないような所でも、朝早くから除雪している所を見かける。それより雪のある間は通行止めにし、歩道のない通学路の安全確保を優先する等、除雪に係る費用の削減を図ったかどうか。

**町長** 基本、通学路を優先に通学時間までに完了することを目標としている。次年度以降も作業時間の遅延防止対策および経費削減を図りたい。

## 大丈夫か 自転車通学の安全は

### 町長 中学生のマナーが問題

**問** いっこうに改善の兆しを感じられない中学生の自転車での通学マナー。一時停止の場所でも左右も確認しないまま通過する生徒がいて危ない。

重大事故が起きてからは遅い。地域の住民も心配している。また、自転車通学用のヘルメット義務付けの検討結果は。

**町長** 子どもたちにきちんと交通ルールを順守させるように徹底した指導しながら、集落の皆さん方の理解をいただくということが本質かと思う。

**教育長** 平成30年度から、ヘルメットを義務付け、町が2分の1助成する。

事故が起きてからではどうしようもないことであり、その危険性は十分認識している。教育委員会も承知していると思う。交通安全指導員も、子どもたちや学校側にきちんとした対応を求めている。

## ざぶくん館に1億円 町民の理解は

### 町長 多くの皆さんに利用されている

**問** 昨年10月、町は972万円を投じて「ざぶくん館」の温泉井戸の洗浄をした。その後、新たな源泉掘削として平成30年度当初予算に、約9800万円の工事費用を計上。2450万円は積立基金から、7350万円は起債、つまり借金だ。

「ざぶくん館」の入館者は、平成11年度の約28万4千人をピークに毎年減少し、平成28年度は約15万人である。年々利益も減少し、現在は毎年町から900万円の委託料を受けて営業。一方、土地・建物の管理・修繕は町に責任がある。

7350万円という高額な投資である。委託料に頼らない事業経営、起債の償還が十分可能であるという見通しが立たなければ、将来世代にツケを押し付けることになる。源泉掘削には決して反対ではないが、予算の優先順位としてどうか。また、起債の償還見通しなどに疑問や不安が生じる。

約1億円の投資は町民の理解を得られるか。

**町長** 「ざぶくん館」は天然温泉であることから、開館以来多くの皆さんに利用いただいている。現在の温泉の不具合状況を考え合わせ、新たな温泉井戸を掘削するため予算計上した。

**問** 温泉が今まで以上の収益を上げるための対策は。

**町長** 指定管理制度により聖籠の杜に運営を委任。同社の方針と合わせ、多様化する利用者のニーズに、より効果的で効率的な対応をし、民間ノウハウや経営感覚を生かして利用者増につながるような対策を協議する。

**問** 「ざぶくん館」の位置付けは健康増進施設なのか、観光の拠点なのか。20%前後しかない町民利用率をどのように改善するか。

**町長** 条例で「町民等の

保養及び健康の増進を図り、あわせて観光振興及び地域活性化に寄与する」と定められている。また、地元が故の使いづらさもあるが、逆に言えば町外からの利用につながっている可能性もある。

**問** 本町の小学校と中学校をそれぞれ知・徳・体のバランスという視点から見ると、どのような特徴があると考えるか。

**教育長** 学力という面では、小学校では学年によってバラつきがある。中学校は11月以降、県平均を上回っている。

**問** 本町の町民性や地域性を考慮した上で、今後、本町の子どもたちに目指してほしい子ども像は。

**教育長** 「たくましく未来を切り拓く子ども」が望ましい姿。感性が鋭いので、それをさらに豊かにするよう鍛えてほしい。



たなか ともゆき 議員



▲お客さまに喜ばれるおもてなしを

## 本町の子どもたちの「生きる力」は

### 教育長 知・徳・体のバランスよし

**問** 本町の町民性や地域性を考慮した上で、今後、本町の子どもたちに目指してほしい子ども像は。

**教育長** 「たくましく未来を切り拓く子ども」が望ましい姿。感性が鋭いので、それをさらに豊かにするよう鍛えてほしい。



# 第20回 追跡レポート その後どうなった 請願・陳情のゆくえ

平成24年から28年の間に議会で審議・採択された請願・陳情は、請願が27件、陳情は16件ありました。その中でも、特に町民から提出され、

私たちの生活に深く関わるものの中から4件の請願・陳情について、その後の状況を調査しましたので皆さんに報告します。

**陳情** 生活道路の環境整備をしてください  
陳情名 蓮濁居浦山地区道路環境整備の陳情書  
提出者 蓮濁区長 森田春雄  
議会採択年月日 平成24年12月13日

**請願** 通学道路に歩道を整備してください  
請願名 苔沼地区通学道路整備に関する請願書  
提出者 苔沼区長 中村利雄 他3人  
議会採択年月日 平成26年6月23日

## 処理状況

平成29年度に住宅移転及び1工区、聖中～八万刈側の170mの道路改良・舗装工事を完了しました。



## 今後の計画

平成30年度に2工区230m、平成31年度に3工区130mの工事を実施する予定です。



## 処理状況

平成29年度に1工区、聖中～苔沼の245mの用地購入を完了しました。



## 今後の計画

平成31～32年度の間に、1工区の工事まで実施する予定です。2・3工区は、平成33年度以降に実施の予定です。



**請願** 歩道付きの道路へ拡幅整備をしてください  
請願名 蓮野苔沼線の歩道付き道路拡幅整備に関する請願書  
提出者 別条区長 本間和人 他2人  
議会採択年月日 平成26年12月15日

**陳情** 生活道路の環境整備をしてください  
陳情名 6メートル未満生活道路舗装工事の陳情書  
提出者 網代浜区長 渡辺幸明  
議会採択年月日 平成27年12月14日

## 処理状況

平成29年度に1工区、蓮野～八幡の120mの用地購入・物件補償を完了しました。



## 今後の計画

平成30年度に1工区の工事を実施する予定です。2・3工区は、平成31年度以降に実施の予定です。



## 今後の計画

平成29年度に、現道舗装工事を完了しました。



# 大丈夫か老人介護施策は

## 町長 サービスは安定している



おがわ かつなり 勝也議員

**問** 聖籠福祉会になることによる、町民へのメリットはあるか。  
**町長** 社会福祉協議会の居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業を聖籠福祉会に一本化することにより、町民への安定した幅広いサービスができる。  
**問** 聖籠福祉会が設立されることによる、町の診療所の老人医療への関わりは。  
**町長** 診療所は新たな関わりを持つことなく、今まで通り診療、往診を行う。  
**問** 看護師を急に募集しているが、どの部門を充実させるのか。  
**町長** 診療所の看護師1人を、年度末退職の補充とする。

**問** 1月29日答申のいじめ防止等対策委員会の調査報告をどのように生かすか。  
**教育長** 答申を真摯に受け止め、教育委員会、学校が連携して取り組むよう検討している。  
**問** 各小学校、聖籠中学校と、地域住民との関わり合いは、成功しているか。  
**教育長** 大きな成果がある。来年度に向け、学校運営協議会、学校支援地域本部の取り組みを計画している。  
**問** 生徒の登下校時の交通安全指導は、徹底されているか。  
**教育長** 交通安全指導は、保護者や地域のボランティア団体の協力もあり、徹底している。  
**問** 昨年11月、蓮濁こども園

## 教育長 課題はあるが認知されているか

も園の預かり保育施設「そだちの家」がオープンした。他のこども園の預かり施設、教室は十分か。  
**教育長** 昨年以降に生まれた子どもの数から推計した場合、足りると見込んでいる。



▲すばらしい校舎での学び

**問** 今後のCCRC計画の実施予定は。  
**町長** 確たるスケジュールを立てることはできない。関連事業者への説明会やヒアリングといった事業誘導のための活動を、来年度準備がそろい次第始めたい。  
**問** 平成29年度施策の町制40周年記念事業での成果はあったか。  
**町長** 多くのメディアに聖籠町が登場するにつれて、町民に誇りや愛着を持ってもらえた。  
**問** 平成30年度以降の新規職員採用予定は。  
**町長** 平成30年度は、一般職、幼稚園教諭、子どもソーシャルワーカーが各2人、医師、看護師、保健師が各1人。平成31年度は、年度末11人の職員が退職する見込みであり、定年退職者の再任用の意向を確認した上で検討する。

## 今後のCCRC計画は

町長 協働しながら模索していく



# 蓮野小学校・こども園・児童クラブを視察

## 総務文教

1月26日、蓮野小学校・蓮野こども園・蓮野児童クラブを視察・調査した。

小学校では基礎的知識や技能の習得で若干、未達の科目もあったが、今後、定期的に復習の場を設けるとのこと。学習規律に関してはおおむね良好。思いやりの心や社会性の習得においては、QUTテストの結果などから判断すると、十分な成果が出ている。生活習慣の改善において、学校・保



護者共に工夫の余地があるとのこと。

こども園では、子どもたちは日々褒められることで着実に自信を付けている。今後、一人一人が一層の自己肯定感を身に付けることが課題。

児童クラブでは、今年度から利用料が上がったことに対する保護者の不満があること。また、より良いサポートや指導のための非常勤職員が不足しているのが課題である。

(文責 田中智之)

# 大雪で経費かさむ

## 厚生産業



# 話し合った レポート

3月8日、厚生産業常任委員会を開催し、一般会計を含む19議案、3承認を審議した。主なものとしては、除雪にかかる経費として、3回の専決処分である。今年は例年にないほどの大雪に見舞われた。1回目の専決は1月15日、2千万円、2回目は、2月6日、2千万円、3回目は、2月13日、2千万円。合計6千万円を専決した。平年の2・2倍の除雪経費となる。

後期高齢医療制度の保険料改定は、平成20年度の制度開始以来初の値上げとなる。均等割額は3万5300円から、3万6900円。所得割額は、7・15%から、7・40%となる。

(文責 青木順)

# 基本条例制定に向けて

## 議会運営

議会運営委員会は、平成31年3月議会までに聖籠町議会の「議会基本条例」制定を目指すことを決定し、議会だより121号で町民の皆さんにお知らせした。

このスケジュールに基づいての具体的な活動スケジュールを次のように設定した。

平成30年4月～5月  
● 一次検討  
● 専門講師を招いて議会全員での研修を計画

(主なテーマは後述※)  
平成30年6月下旬～7月上旬  
● 議会改革先進議会視察(特に基本条例作成に向けて集中的に的を絞った視察を計画)  
平成30年7月～8月  
● 条例に盛り込む事項の最終検討  
平成30年9月～12月  
● 基本条例の原案策定期間  
平成30年12月頃  
● 基本条例原案を専門講師により監修してもらう。

平成31年1月頃  
● 基本条例最終原案を作成し、最終的に議員全員で精査を行う。  
平成31年3月議会  
● 議員発議で基本条例を3月議会上程し審議。  
平成31年5月～6月頃  
● 基本条例は制定された場合、第1回議会報告会を町内地域を分散して開催予定。  
以上が議会基本条例制定に向けての、今後の取り組み予定である。

※5月中旬予定の研修会の主なテーマ

- ①基本条例の全国的な流れと新潟県の動向。
- ②基本条例を作成する上で、議会と住民の距離はどのように変わっていくか。
- ③基本条例作成で留意すべき事項。
- ④講師自身が、基本条例作成において必ず組み込んでおくべきと考えている事項は何か。
- ⑤その他、総合的な見解と指摘事項について。



⑥質疑応答  
参考として、議会基本条例先進自治体および近隣自治体の概要は下表のとおり。  
(文責 五十嵐利栄)

# 見て聞いて 委員会

## (議会改革が進んでいる主な自治体)

自治体名	全国順位	町村順位	項目																	
			議会報告	意見交換	通年議会	一問一答	反問権	情報公開	態度公表	政策立案	議員研修	公聴会	参考人招致	議会だより	住民投票	議長・副議長所信表明	報酬改定	モニタリング制度	図書館充実	政治倫理
北海道 芽室町	1	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北海道 栗山町	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県 筑前町	194	27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野県 軽井沢町	69	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮城県 柴田町	144	22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮城県 蔵王町	300	43	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
阿賀町	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新発田市	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
聖籠町	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※早稲田大学マニフェスト研究所実施の「議会改革度調査2016ランキング」に基づく順位





ほんま かすひと  
本間 和人さん  
(別條)

# 毎日の ほのぼの ファミリー



## 毎日忙しく暮らしています

### Q ご家族の構成は

夫婦と子ども3人ですが、最近、息子が結婚して、お嫁さんも一緒に暮らしています。3人の子どもたちは、大きくなり、皆、それぞれに、忙しくしています。毎日の食事は別々ですが、お盆やお正月には、集まって、家族そろって楽しい時間を過ごしています。

### Q 子育て真っ最中の時の思い出は

子どもたちの小さい時には、休みに合わせて、友人の家族と一緒に、笹川流れやグリーンピア津南などに出かけて、パークューなどを楽しみました。いい思い出です。今、子どもたちも社会人になり、父の日や母の日にプレゼントなどくれるようになり、とてもうれしく思っています。

### Q 本間さんのこれからの夢は

バリ島に妹家族が住んでいます。長期の休みができれば、家族と親戚、総勢20人くらいでバリ島に遊びに行きたいというのが夢の一つです。他には、新発田でラーメン店を経営しています。店の味を他の地域に広げていきたいらいいなと思っています。

### Q 町に思うことは

新鮮な果物や野菜、魚が町の貴重な特産物だと思っています。「海のにぎわい館」などを使って、町をPRするのも大事ではないかと思っています。



### ★表紙の写真★

「車には気をつけまーす」  
(山倉小学校入学式)

4月9日(月)、新1年生にランドセルの黄色カバー贈呈式の様子です。

(撮影 長谷川 六男)

## お知らせ

～ information ～

☆ 議会を傍聴にきませんか

今回の定例会は、6月19日(火) 開催です。

午前9時30分から開会します。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができます。ぜひお聞きください。

## 編集委員のつぼやき

つぼやき

今年は大雪で、冬が長く感じ春を待ち遠しく思ったのは、私だけでしょか。温暖化の影響なのか、私の小さいころと比べると、雪が溶けるのも早く感じます。あれだけ山のようにあつた雪が、彼岸の入りには見当たらないになりました。

いよいよ春到来です。卒園、卒業式が終わり、入園、入学式が始まります。きっと心待ちにしているのは、主役の子どもたちではなく保護者の皆さんではないでしょうか。

実は、私も楽しみにしている一人です。特に、小学校に入學する新一年生。昨年もそうでしたが、黄色いカバーの掛かったランドセルを背負い登校する姿がとても愛らしく、ランドセルだけが歩いているようで可愛かったの思い出されます。今年も、そんな光景が見られるのではないかと楽しみです。

広報広聴常任委員会  
委員 長谷川 六男

### 発行責任者

議長 田村富美男

### 広報広聴常任委員会

委員長 宮沢光子

副委員長 小川勝也

委員 中村恵美子

渡辺豊

長谷川六男

宮沢さやか

発行 新潟県聖籠町議会

編集 広報広聴常任委員会

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

[聖籠町議会](#)

[検索](#)

せいろう議会だよりは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。